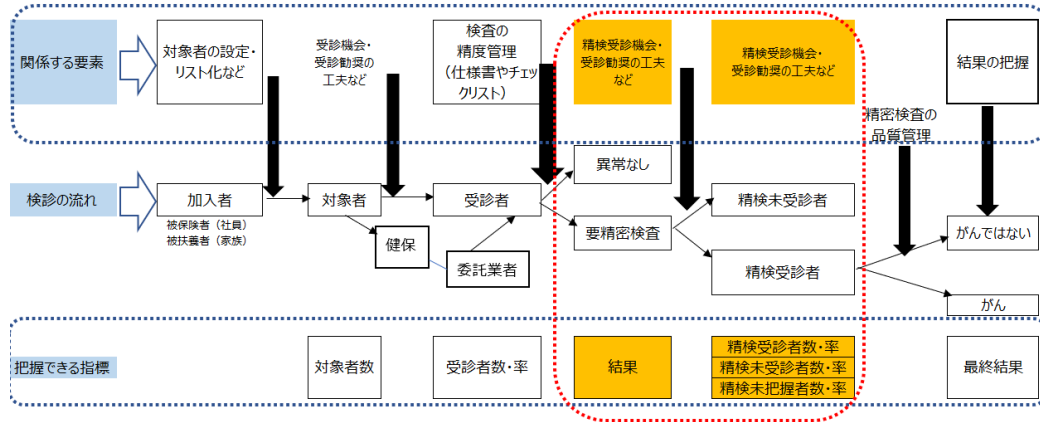


本事業におけるがん検診受診勧奨実施体制

標準的ながん検診フロー:本事業では、赤枠内を成果連動型事業対象として実施する



がん検診精度管理における
プロセス指標の中で、キーとなる精
検受診率の向上を目的とする実施体
制構築

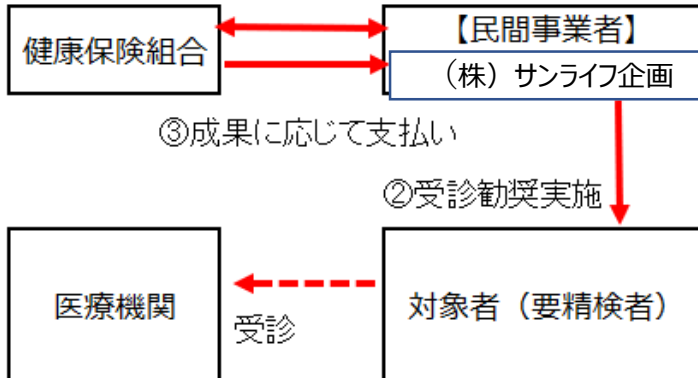
被保険者数が少なく、職員数が少ない健
保は人手不足、職員数が増えても、コ
ロナ禍、テレワークが増える健保は時間不
足から業務が停滞

本事業により得られるプロセス指標
共同事業で得られる指標のうち、本事業では、**精検受診
率をプロセス指標＝成果** とする。

精検受診者を特定の
ために必要な項目(○)

項目	必須
受診者の性別	○
受診者の生年月日	生年のみ(もしくは年齢)
健診実施年月日	○
健診実施機関番号	都道府県の同定ができれば○
内科診察	○
健診機関の判定	○
(判定)胸部X線	○
(判定)喀痰細胞診	○
(判定)胃部	○
(判定)大腸	○
(判定)超音波	○
(判定)診察	○
胸部X線検査(所見の有無)	○
PSA	○
PSA判定	○
胃部内視鏡判定	○
胸部CT判定	○
乳房判定	○
子宮判定	○
便塗抹	便潜血であれば○
再精検・要治療受診	○

共同事業
開発
システム



項目	人数・率 (2021/01/01)
対象者	20,000
受診者	10,000
異常なし	9,300
要精密検査	700
精検異常なし	336
他の疾患	140
がん	14
精検未受診	140
精検結果未把握	70
要精検率	7.00%
がん発見率	0.14%
陽性反応の集中度(率)	2.00%
精検未受診率	20.00%
精検未把握率	10.00%
要精密検査の判定を受けた人のうち、精密検査を受診して、精密検査では異常ななかった人、がん以外の疾患だった人、がんだった人を合わせた数	490
要精密検査の判定を受けた人の数から、精密検査を受けていない人と把握できない人とを差し引いた数	490
精検受診率	70.00%
要精密検査の人数	700
精検受診率 + 精検未受診率 + 精検未把握率 = 100%	100.00%

※数字は例である。